

【商業科・事務情報科】 3年次 【選択】科目「商業デザイン」授業のシラバス

1 概要

教科名	商業	科目名	商業デザイン	単位数	2 (105)
科目の目標	商業デザインがマーケティングの中で果たしている役割を理解させるとともに、状況に応じて適切なデザイン活動を行うことができる能力と態度を育てる。				
教科書(出版社)	—	副教材(出版社)	(授業開始後に指示・購入します)		

2 学習の方法

- (1) 予習について
教科担当の先生の指示に従ってください。
- (2) 授業について
毎時間の授業を大切に集中して取り組んでください。疑問点は遠慮なく質問してください。
教科担当の先生の指示に従い、授業で使用するものを確認してください。もし忘れた場合は、授業が始まる前に教科担当の先生に申し出てください。この授業で使うファイルは「プラスチックの緑」です。
- (3) 復習について
授業についていけなくなるようなことがあれば、教科担当の先生に積極的に質問するなど、自ら進んで復習に取り組んでください。

〈学習アドバイス〉
ビジネスに必要なマルチメディアに関する実践的な知識・技術および技能の習得を目指します。日々の授業を大切にに取り組んでください。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	企業におけるデザイン活動に関心を持ち、積極的に調査や実習を行おうとする。
② 思考・判断・表現	企業の商業デザインがマーケティングの中で果たしている役割について考察し、その重要性を考えることができ、状況に応じて適切なデザイン活動を選択・判断することができる。
③ 技能	デザイン活動について、調べたことを適切に発表することができる。また、目的に適したデザイン表現を、適切な用具を用いて行うことができる。
④ 知識・理解	商業デザインがマーケティングの中で果たしている役割について理解し、状況に応じて必要なデザイン活動を選択することができ、デザイン活動に必要な用語や道具、その使用方法などを正しく理解している。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料		定期考査・確認テスト	確認テスト	提出物	課題	プレゼン
	割合						
① 関心・意欲・態度	10%	△	その分野が日常生活にどのように活かされているかを問うことがあります。	◎		○	○
② 思考・判断・表現	25%	◎	ビジネスにおける商業デザインの役割について考察し、的確に表現できるか。		○	○	○
③ 技能	40%	◎	パッケージデザインの作成、プレゼンテーションソフトの活用。		○	○	○
④ 知識・理解	25%	◎	ビジネスにおける商業デザインの役割について理解できているか。		○	○	○

〈担当者からのメッセージ〉

●卒業後、社会の即戦力になれるよう、ビジネスにおける商業デザインの役割をしっかりと理解し、図形・画像など加工できる能力を身につけ、またプレゼンテーションに関するスキルを身に付けてください。

【商業科・事務情報科】 3年次 【選択】科目「商業デザイン」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等		
前期 4	1 わたしたちと商業デザイン 2 商業デザインとは	9	現代社会における商業デザイン	①	身の回りの商業デザイン活動について、進んで調べることができる。 商業デザインの4つの領域について学ぶ意欲があり、それぞれの内容を正確に把握し、具体的な事例を用いてそれらを理解することができる。 ② 企業のロゴマークの活用方法や役割をいろいろな角度から考察できる。 ③ 調べてきたマークや商品について、適切に発表することができる。 ④ 企業活動におけるロゴマークの重要性や意味、活用方法を理解することができる。	前期中間考查		
5		12	いろいろな商業デザイン 商業デザインの領域	① ②				
6	12	商業デザインの実際	③					
7	12	商業デザインを調べる	④					
8	3 商業デザインの制作	6	自分をテーマにデザインする	①			実習に興味関心を持ち、積極的にデザイン内容を考え、実習を行うことができる。 ② テーマを考え、そのテーマに沿ったキーワードやシンボルイメージを考えることができる。 学校案内に必要な情報を取捨選択し、一番伝えたい内容を選ぶことができる。 ③ 位置、色、形の変更などをコンピュータを使って処理できる。 様々な造形表現をコンピュータを使って画像処理・文書処理ができる。 ④ CDケースの持つ役割について理解し、イメージを具体化する表現のみならず、保護機能としてのパッケージデザインを理解することができる。	前期期末考查
9		12	自分の好きなものをデザインする	② ③				
後期 10	4 プレゼンテーション	15	クラブ活動をデザインする	④				
11		15	学校生活をデザインする					
12		9	プレゼンテーションソフトウェアの利用	①				
1	3	プレゼンテーションの演習	② ③ ④	プレゼンテーションソフトウェアを用いたスライド資料の作成について関心を持ち、主体的に学ぼうとしている。演習問題に積極的に取り組むことができる。 文字の大きさ・スライドデザインの変更について適切に判断できる。 プレゼンテーションソフトウェアを活用し、テーマに応じたスライドを適切に作成することができる。 スライドの目的や活用方法を理解している。スライドの構成要素について理解している。聞き手にとってわかりやすいプレゼンテーションの仕方について理解することができる。	後期中間考查 または 作品制作			
2	計 105							
3								

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は技能、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。